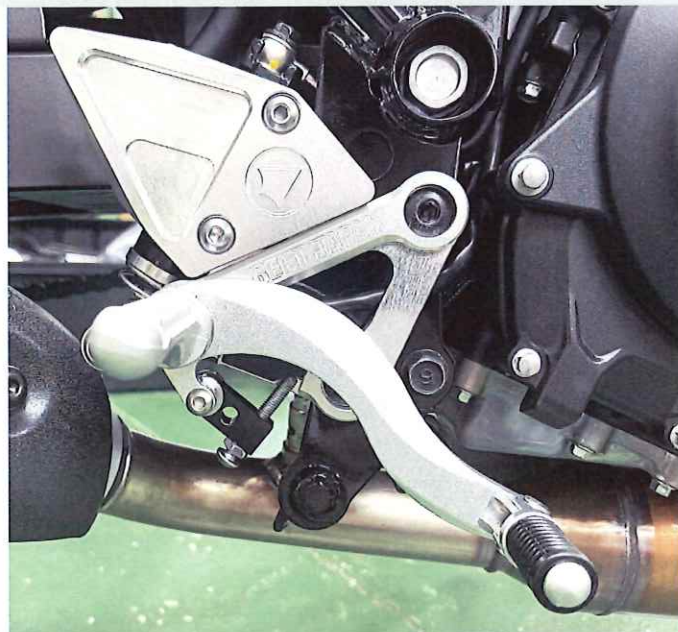


KAWASAKI ELIMINATOR Hyper Bank < 取付説明書 >



おもな仕様

◆ チェンジ側・ブレーキ側 ステップホルダー	➤ アルミ (ジュラルミン)	削り出し
◆ チェンジ側ペダル・ブレーキ側ペダル	➤ アルミ (ジュラルミン)	鍛造
◆ 両側ペダルピン (可倒式機構付き)	➤ アルミ (ジュラルミン)	鍛造
◆ チェンジペダルカム・ブレーキペダルカム	➤ アルミ (ジュラルミン)	削り出し
◆ MFJレースレギュレーション対応 ステップバー	➤ アルミ (ジュラルミン)	鍛造
◆ エクステンション用 シフトチェンジロッド付属。	➤ ステンレス (耐蝕、耐候性素材)	削り出し
➤ 両側ペダルピン、可倒システム採用。	➤ ステップバー 固定式仕様	
➤ 各部ボルト、ナット類 耐食、耐候性メッキ処理	➤ 純正ブレーキスイッチ使用	

《 注意 !! 》

取付作業をはじめる前に
必ずお読みください

《 Attention!! 》

- ◆ 本製品の取付作業は、オートバイメーカー発行のサービスマニュアルによる、確かな知識・技術を持ったバイクショップ 又は、販売店に依頼する事をお奨めします。
- ◆ 本製品の取付作業は、エンジン・マフラー・ラジエターなどが、完全に冷えている状態で行ってください。ヤケド等の怪我の原因となります。
- ◆ 製品に加工を施さないで下さい。重大な事故の原因になります。
- ◆ 御客様の装着されているマフラー製品、その他の部品等によって本製品と干渉し、使用できないポジションがありますので、予め御了承下さい
- ◆ 本製品の取付作業終了後、走行の前に、必ず ブレーキの利き具合・引きずりの有無・ブレーキランプの点灯確認・シフト周りのガタツキ 等を確認してください。
- ◆ 本製品の取付作業終了後、初期の段階で各部のボルト・ナット類が緩み易くなっていますので、2～3日走行後必ず増し締めを行ってください。
- ◆ その後も各部のメンテナンス、及び増し締めを定期的に行なって下さい。

◇ 取付作業に入る前に本商品の部品一式が、きちんと揃っているか別紙パーツリストと照らし合わせて確認してください。

ブレーキ側 (R) の取り付け

※ 作業中に、ブレーキ周りの部品が、車体やマフラーに傷をつけたりする事がある為、あらかじめ ウェス、古布 等でカバーして当たらないように工夫してください。

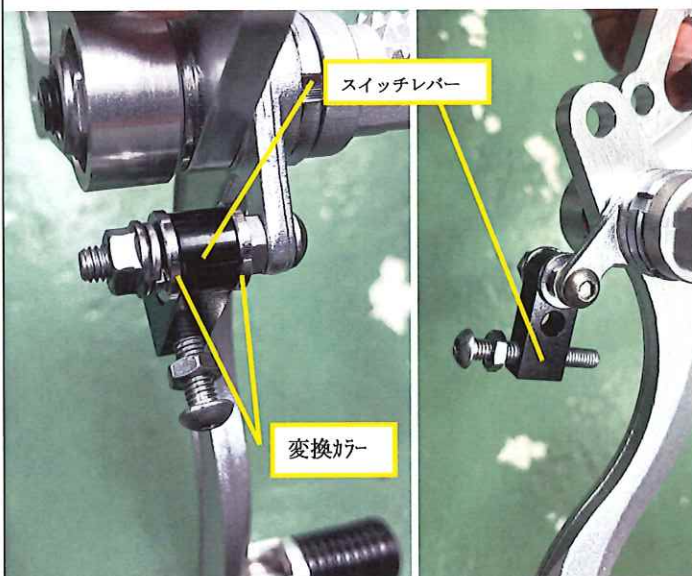
リアブレーキマスターシリンダーを止めている純正 M8 ボルトを緩めて、その後にブレーキ側ノーマルステップホルダー を取付けている M8 純正ボルトを緩めてノーマルステップを車体から取り外します。

リアブレーキマスターシリンダー の プッシュロッド部の 純正 M8 アジャストナットを緩めた後、プッシュロッドを 10mm のスパナで回し、ノーマルステップをマスターシリンダーから完全に取外します。
(※ 純正 M8 アジャストナットを後で使用します)

リアブレーキスイッチ及びブレーキペダルを車体から取り外す。(ブレーキスイッチは使用します)

ブレーキペダルにスイッチレバーを取り付ける。

丸キャップボルト M6×35mm をブレーキペダルのステー部にねじ込み、M6 ナットで固定する。
スイッチレバーを 8mm/6mm 変換カラーで挟み、SP ワッシャーとフランジナットで仮固定する。
スイッチレバーに丸キャップボルト M6×40mm とナットを取り付けておく。



左図の様に、純正マスターシリンダーに

- a) H/B リターン springs カラー
- b) ペダルリターン springs
- №10
- c) 純正 M8 アジャストナット

の順でプッシュロッドの M8 ネジ部に取り付け、スプリングの上端と、一番下のナットの上端との距離を 20mm (※ 左図矢印参照) に調整し純正アジャストナットで仮止めし、プッシュロッドジョイントも取り付けておきます。

※後で要再調整



純正ブレーキスイッチ用カバーのステー部分をカットする。

カット面を整え、錆防止 (塗装など) を行う。



ステップホルダーの裏側よりブレーキスイッチを通し、前項でステー部分をカットしたカバーと純正 M4 ビスを使用し、ブレーキスイッチをステップホルダーに固定する。
※ネジロック剤を推奨

純正ボルトと付属の M8 幅広ワッシャーを使用し、ステップホルダーを取り付ける。

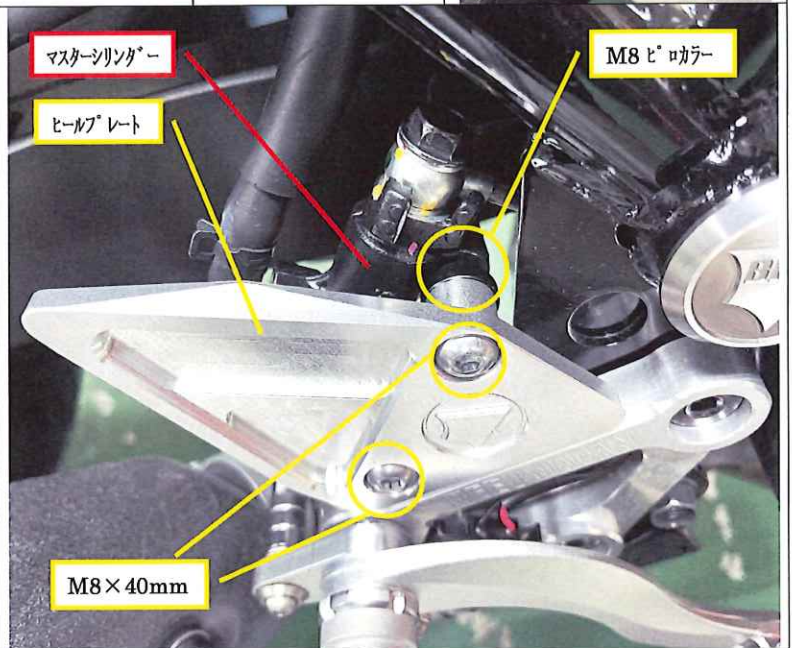
取り付けの際に、ブレーキスイッチのハーネスを赤丸の切り欠き部分を通し、挟まない様に注意し取り付けます。



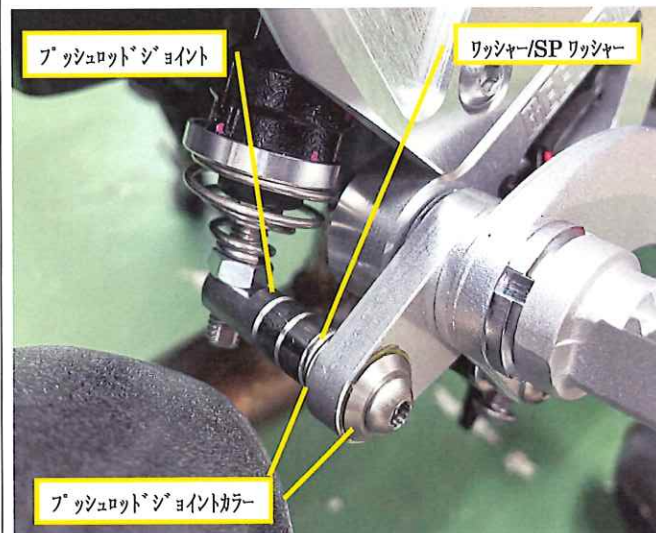
ブレーキスイッチハーネスが挟まっていない事を確認する。



右図の様に、ステップホルダーとマスターシリンダーの間に M8 ピロカラー (10t) を挟み、丸キャップボルト M8×40mm を使用し、ヒールプレートとマスターシリンダーをステップホルダーに固定する。



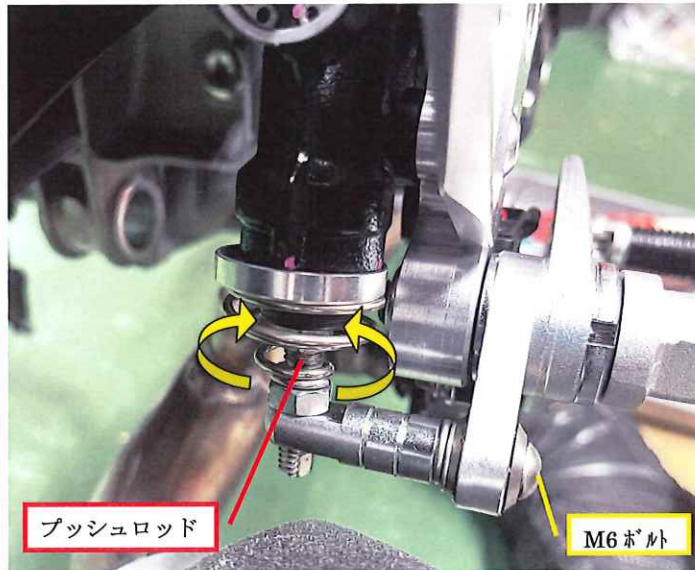
丸キャップボルト M6×35mm を使用し、ブレーキペダルにプッシュロッドジョイントカラーを取り付け、ワッシャー、SP ワッシャー、6.5mm カラー (2個) を挟み、プッシュロッドジョイントに固定する。



ホースの折れ曲がりに注意

マスターシリンダーのリザーバーホースが折れ曲がらない様に、黄色矢印部分のホースをフレームの奥に入れて対策する。

ブレーキペダルの高さが合わない場合は、純正 M8 ナットを緩めた状態で、プッシュロッドを 10 mm のスパナで回転させ調整します。薄いスパナが無い場合は M6 ボルトを外して、プッシュロッドジョイントを回して調整する。



ブレーキペダルの高さ調整完了後、純正 M8 ナットを締めプッシュロッドが回らない様に固定します。

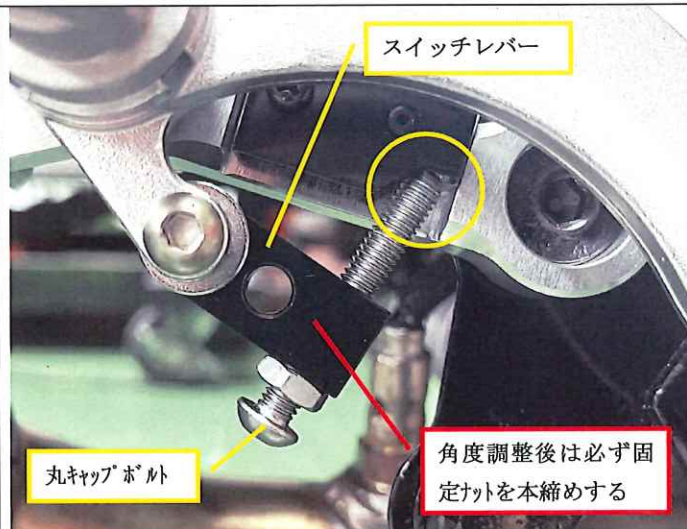


▶ ペダルが 上向き すぎる場合は…
プッシュロッドを少しずつ締めてペダルの先端を下げます

▶ ペダルが 下向き すぎる場合は…
プッシュロッドを少しずつ緩めてペダルの先端を上げます

ブレーキペダルの高さ調整とプッシュロッドの固定が確実に終わってから、

スイッチレバーの取り付け角度と丸キャップボルトのねじ込み量を調整し、スイッチを押し込んだ状態に合わせる。
※スイッチレバーの固定ナットを必ず本締めする事



ブレーキペダルを操作した際に、ブレーキランプが点灯する事を確認する。(ブレーキペダルの遊びでは点灯しない様に)
※丸キャップボルトを締め込む事で、ブレーキペダルの遊びを減らす事が出来ます。



◇ ブレーキ側の取付けの最後に…

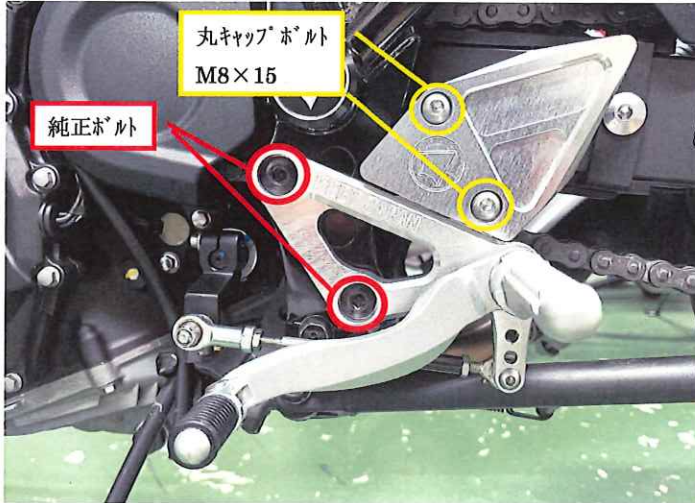
H/B ブレーキ側の取付け確認して各部の増し締めを行って下さい。

LH (チェンジ側) の取り付け

- ▶ 純正チェンジカムの固定ボルトを外し、チェンジカムをエンジンから外す。※固定ボルトは使用します。
- ▶ 純正ステップを車体に固定している純正 M8 ボルトを外しステップを外します。※純正 M8 ボルトは使用します。

ブレーキ側同様に、ステップホルダー(純正ボルト/ワッシャー)、ヒールプレート(丸キャップボルト M6×15)を取り付ける。

付属のチェンジカムをエンジンに取り付け、純正ボルトで固定し、エクステンションロッドとアルミロッドでチェンジペダルと接続する。(画像1/画像2参照)



チェンジペダル高さを、エクステンションロッドとアルミロッドの長さを調整し好みの高さに合わせる。
調整後、必ず M6 ナットを本締めする。

- ※ エクステンションロッド、アルミロッドを取り付ける際は、
- ▶ チェンジカムのピロボール M6 逆ネジ
 - ▶ エクステンションロッド前側 M6 逆ネジ
 - ▶ エクステンションロッド後側 M6 正ネジ
 - ▶ アルミロッド前側 M6 正ネジ
 - ▶ アルミロッド後側 M6 逆ネジ
 - ▶ チェンジペダルのピロボール M6 逆ネジ

それぞれの部分のネジのかけり量が 6mm 以上 になるように注意して調整して下さい。

チェンジロッドの脱落等の原因になります。!



クリアランスがある事を確認する
狭い場合はチェンジカムを手前に引き出してクリアランスを確保する

停車状態で、シフトチェンジ操作を 2～3 度行って、シフトチェンジ操作に不具合が無いか確認して下さい。

◇ チェンジ側の最後に…

H/B チェンジ側の取り付け再確認をして各部の増し締めをして下さい。

》 注意点 《

- ◇ 取付けるマフラーによって、取り付けが出来ない場合があります。
- ◇ ブレーキ・チェンジ両ペダルの垂れ角の範囲は、ある程度、選択が可能ですですが極端な変更は安全な操作の妨げとなりますので、十分注意してください。
- ◇ 必ず、ご自分に合ったポジションを選択し、チェンジ・ブレーキ両側のポジションが同じである事を確認して下さい。
- ◇ 取り付けが終了し、何度か走行された後に、各部のネジを増し締めすることをお奨めします。
- ◇ その後も各部のメンテナンス、及び増し締めを定期的に行なって下さい。

弊社製品に関するお問い合わせは、

TEL. 072 (257) 7600

FAX. 072 (259) 6600

(株) 日本ビート工業

まで

- ▶ ホームページ URL
<http://www.beet.co.jp/>
- ▶ 商品関連 e-mail アドレス
sales@beet.co.jp
- ▶ 技術関連 e-mail アドレス
support@beet.co.jp

BEET Website

Web サイトを開設しております。
左記 URL にてご覧下さい。